「IgA 腎症患者に対するステロイド治療の検討」
に対するご協力のお願い

研究責任者　畔上　達彦
研究機関名　　**慶應義塾大学病院**
（所属）　内科

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「８　お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

東京歯科大学市川総合病院、済生会中央病院、佐野厚生総合病院、立川共済病院、川崎市立井田病院、慶應義塾大学病院、川崎市立川崎病院、JCHO 埼玉メディカルセンター、日野市立病院、けいゆう病院にて腎臓生検を施行し、IgA 腎症の診断がすでになされた 15 歳以上の患者様のうち IgA 腎症に対してステロイド治療目的に 2008 年 1 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの期間に入院した患者様を対象といたします。

２　研究課題名

承認番号　　20241059
研究課題名　　**IgA 腎症患者に対するステロイド治療の検討**

３　研究組織

研究代表機関	研究責任者
東京歯科大学市川総合病院	教授　徳山博文

共同研究機関	研究責任者
東京都済生会中央病院	腎臓内科部長　小松素明
佐野厚生総合病院	院長　村上円人
立川共済病院	腎臓内科部長　二木功治

川崎市立井田病院	腎臓内科部長　滝本千恵
慶應義塾大学病院	専任講師　畔上達彦
川崎市立川崎病院	内科部長　安藤孝
JCHO埼玉メディカルセンター	副院長　山路安義
日野市立病院	腎臓内科部長　荒木崇志
けいゆう病院	内科部長　松田洋人

４　本研究の目的、方法

IgA 腎症は無治療だと 20-40%が末期腎不全となる疾患であり、適切な治療により腎予後の改善が期待されています。現在日本では広くステロイド治療が行われていますが、どのような患者さんにどのような方法でステロイドを投与すべきかについては明確になっていないのが現状です。過去にステロイド治療を行なった IgA 腎症患者さんの臨床経過を細かく検討、解析することで IgA 腎症に対するステロイド治療の効果の検証を行います。このことで、IgA 腎症に対する適切な治療が明確になることが期待されます。

５　協力をお願いする内容

対象になる患者さんのカルテを拝見します。通常の診療で得られた過去ならびに現在の記録（eGFR、蛋白尿量（g/g･Cr）、尿赤血球数（/HPF）、透析導入率、eGFR の入院時初回から 30%以上低下の率など）をまとめ、解析します。

６　本研究の実施期間

研究実施許可日～2027 年 3 月 31 日

７　外部への試料・情報の提供

当院で収集した情報を**東京歯科大学市川総合病院に提供して解析を行います。**

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学病院　腎臓内分泌代謝内科
戸田匡太郎
vcfmasa@gmail.com
03-5363-3796

以上